

女性のための 健康経営セミナー

[第2回] 経営的視点で考える女性特有の健康課題

- ・女性の就業者数や就労年数が増え、女性の健康は企業の経営課題としても重要度を増しています。
- ・こうした中、令和7年6月、女性活躍推進法が改正され、女性の職業生活における活躍の推進に当たり留意すべき事項として、女性の健康上の特性を加えるものとされました。
- ・今後、更年期症状や生理など、女性特有の健康課題に対する支援が求められています。
- ・その第一歩として、本セミナーの第2回目では、社会保険労務士による経営的な視点からお話をさせていただきます。



あきよし社労士事務所
特定社会保険労務士

秋吉 順子 氏

社会保険労務士試験合格後、ハローワークや助成金センターなどの行政相談員、障害のある方のジョブコーチなどを経験し独立。近年は、労務相談の他にメンタルヘルス対策やキャリア支援の分野でも活動中。

セミナー内容

- 女性特有の健康課題解決による企業の生産性向上
- 女性の健康課題に対応した助成金の活用
- 先進企業の取り組み事例の紹介

[開催日時] 令和8年2月19日(木) 14:00~16:00

[開催場所] TKPエルガーラホール 多目的ホール
(福岡市中央区天神1-4-2 7階)

[参加費] 無料

[対象] 県内事業所の経営者及び管理職等

[定員] 30名(1社につき1名)※応募多数の場合は抽選

[申込方法] 右の二次元コードからお申込みください

[申込締切] 令和8年2月5日(木)



問合せ先

福岡県中小企業雇用環境改善支援センター
(福岡市中央区天神1-4-2 エルガーラオフィス11階)

TEL:092-751-1655

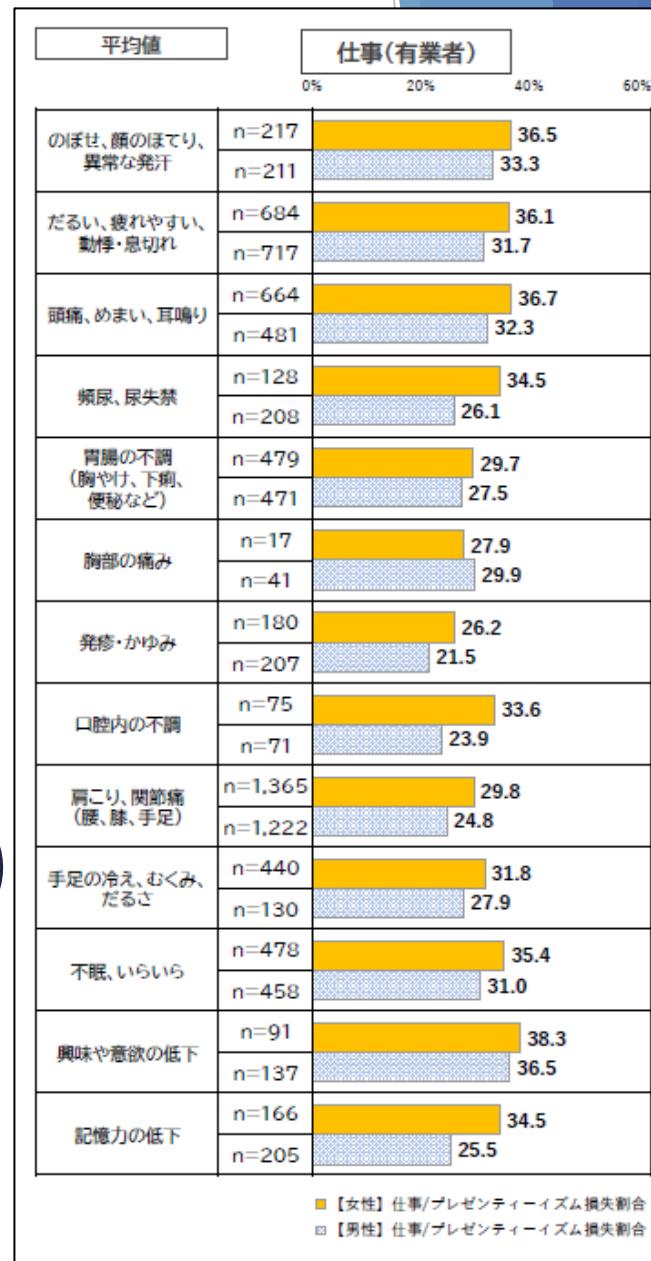
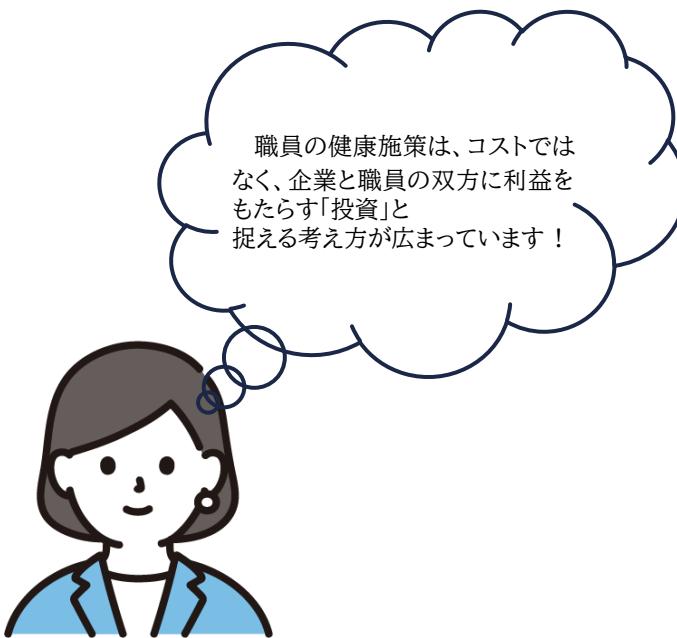
参考資料 仕事と健康課題について 調査結果まとめ

○1か月の間で気になる症状とプレゼンティーアイズム損失割合

最も気になる症状によるプレゼンティーアイズ

ム※損失割合は、**仕事においてはほとんどの**症状で女性の方が高い傾向がみられます。

※プレゼンティーアイズムとは、WHO(世界保健機関)が提唱する健康問題に起因するパフォーマンス損失の指標です。月経痛、花粉症、頭痛、腰痛、軽度の精神疾患などが原因で、心身の不調を抱えながらも仕事に従事しているため集中できず、生産性が低下している状態を指します。



※アンケートの中では、「通常時(気になる症状がない時)の仕事や家事・育児・介護の出来を100%として、ここ1か月の間で最も気になる症状があった時の、自身の仕事や家事・育児・介護の出来を評価してください。」と提示して、0~100の数字で回答を得ている。※nは上段が女性、下段が男性

【出典】

内閣府ホーム>内閣府男女共同参画局ホーム > 基本データ > 調査研究等 > 令和5年度 男女の健康意識に関する調査報告書一部抜粋

https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/kenkou_r05s.html

【出典資料の概要】

調査主体:内閣府内閣府男女共同参画局

調査物:「令和5年度男女の健康意識に関する調査報告書」(令和6年3月)31ページ

調査対象:国内在住のインターネット・モニター(20歳以上70歳未満)

調査期間:令和5年12月12日(火)～令和5年12月25日(月)